



真清水だより

第2号

平成23年12月24日 発行



4年連続の県教育長賞受賞

11月5日(土)に開催された「県民花まつり」において、生徒が丹精込めて育てたシクラメンが、4年連続の県教育長賞を受賞しました。当日、サンメッセの会場では、販売もあり、多くの来場者で賑わい、石高のブースでも、シクラメンやポインセチアなどをお目当てに多くのお客様でいっぱいでした。

新世紀への始まり

同窓会長 遠藤 幸一
(昭和四十三年畜産科卒)



母校の新しい世紀の門出となる記念すべき年に、先輩諸氏のご推挙をいただき、同窓会長に就任いたしました。もとより前任の安藤

藤会長から私共の世代までには、この東讃の各地に各界でご活躍され、多大な実績を積む、多くの諸先輩が居られます。昨年は母校の創立一〇〇周年を祝いました。そして春には会報誌「真清水だより」が創刊され、また会則の改正により支部活動、地域、学年等の同窓活動に対する助成金の制度が設けられました。この新しい動きの中核を団塊世代の私共に託されたと思っています。諸先輩はもとより、今まで同窓会活動に疎遠であった若い同窓の方々にも暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

同窓会活動は、「会員相互の連絡・親睦と母校の発展に寄与するための諸活動を行う。」と謳われています。会員相互の連絡・親睦の増進については、先の新たな試みの成果を待ちたいと考えています。一方母校の後援事業については、まず母校の現状を知る事から始めたいと思っています。先日は臨時役員会を、学校行事の「石高祭」に併せて開催。会議の前後には、校内を一巡、各施設群の往時との変遷を体感。展示作品を見学。バザー会場にて昼食

と、母校の現状を知る好機ともなりました。今年の「石高祭」も盛況で開場前には行列も出来、特に花の即売は大人数で早々に売り切れとなったとの事でした。地域に愛される母校の様子に有意義な一日となりました。

退任のご挨拶

前同窓会長 安藤 正信
(昭和二十七年農業科卒)



先の理事会・評議員会において役員改選が行われ、十一年間務めさせていただいた同窓会長を退任することとなりました。私は、平

成十二年、前任の赤澤武孝会長よりバトンを引継ぎ、その年に創立九〇周年の、そして昨年は、創立一〇〇周年の大きな事業に関わらせていただきました。同窓会長として、無事責任を果たすことができた達成感と喜びを感じております。就任中は、役員の方々を始め多くの会員、学校関係者の皆様方に、ご支援とご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

さて、母校は、一〇一年目の新世紀を迎え、新たな第一歩を踏み出しました。同窓会も、遠藤幸一会長を中心に新役員が決まり、新たな第一歩を踏み出した訳であります。折しも、私たちは、東日本大震災や福島第一原子力発電所の未曾有の大災害を経験したことで、人と人のつながりの大切さを再確認することとなりました。石田高校同窓会においても、今後、新会長のリーダーシップのもと、会員一同が一層団結して、同窓の絆を深めるとともに、母校の発展に寄与していくことを願ってやみません。最後になりましたが、今後の同窓会の発展を祈念して、退任の挨拶といたします。

平成23年度役員

顧問	松岡 孝 (志度)	新
顧問	大石 義明 (大内)	新
顧問	安藤 正信 (寒川)	新
会長	遠藤 幸一 (長尾)	新
副会長	三谷 正俊 (引田)	新
副会長	満濃 敏彦 (大川)	新
副会長	桑井 明人 (三木)	新
副会長	丸岡 禎 (校長)	
監査	山田 琢三 (津田)	
監査	森定 信善 (三木)	新

創立100周年を契機に同窓会役員も一新。
新会長に遠藤氏、安藤前会長・大石副会長は顧問に。
また、各支部でも新旧理事の交代が進みました。



今年、東日本大震災や集中豪雨、さらには原発事故など、日本列島は様々な困難に見舞われました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今も不自由な生活を続けられている方々が、かつての平穏な生活を一日も早く取り戻せますようにと祈るばかりです。

ところで、震災以降「絆」という言葉を幾度も耳にしました。罹災し避難所生活を強いられた人々同士の絆、ボランティアとして被災者支援に立ち上がった人々との絆など、人と人が手を思いやり、いたわり合うことが人間生活の中でのいかに大切かを、改めて思い知らされた気がします。とりわけ、東北の方々の辛抱強さと優しさには深い感銘を受けました。

さて、石田高校は創立一〇一年目の新世紀に一步踏み出しました。同窓会も役員改選により新しい体制が整いました。これまで学校のためにご尽力いただきました旧役員の方々に心からお礼を申し上げますとともに、新役員になられた方々に対しましては、引き続き本校へのご支援を宜しくお願い申し上げます。規約の一部改正では、同窓会の「絆」を強めるための条文が加わりました。これを契機に、石田高校に縁(ゆかり)のある方々の絆が益々深まりますことをご祈念申し上げます。

来るべきあらたまの年が皆さんにとって平和で幸せな年でありますようお願い申し上げます。

平成23年度同窓会総会(評議員会)報告

〇創立100周年の実行委員会会計を引継ぎ「記念事業等基金」が設けられました。この基金は今後の周年記念事業や部活動等の学校教育活動の支援のために活用されることが承認されました。

同窓会事務局から

皆様のご厚情をもちまして、昨年度は母校創立100周年の諸事業を無事終えることができました。事務局としましては、一息つくとともに、会員の皆様のご厚情に対しまして、改めて、心から感謝する次第です。そして、同窓の絆の素晴らしさを大いに感じております。

さて、この度、会報「真清水だより」第2号をお届けいたしました。いかがでしょうか。これからも、同窓会の活動や石高の様子などをしっかり発信してまいりますので、ご意見や情報などをどしどしお寄せ頂きたいと存じます。

石田高校同窓生の親睦と母校の発展のために、同窓会が果たす役割は大きいものです。母校は創立101年目のスタートを切りました。事務局一同、これからも精一杯努めますので、今後とも会員の皆様のご支援をよろしくお願いします。

香川県立石田高校同窓会 事務局一同

平成23年度 事業中間報告

月日	行事	内容
5月20日	ピッチングマシン寄贈式	野球部へ、ピッチングマシン1台を寄贈するとともに安藤会長より激励する。
6月11日	総会 [理事会評議員会] (石田高校会議室)	議事 (1) 平成22年度事業報告 (2) 平成22年度会計決算報告 (3) 役員改選 (4) 平成23年度事業計画(案) (5) 平成23年度会計予算(案) (6) 同窓会規約改正 (7) その他
7月12日	部活動激励会	同窓会から野球部と四国・全国大会に出場する自転車部を激励し激励費を渡す。
10月4日	部活動激励会	国体に参加する自転車部を激励し激励費を渡す。
11月13日	代表理事会	真清水だよりの発行について他石高祭(文化祭)見学
12月末	会報「真清水だより」発行	「真清水だより」第2号を全会員に配布する。
2月29日	同窓会入会式	卒業予定者114名の入会許可

*その他、全国大会等への出場があれば、その都度激励する

同窓会会則の改正ポイント

同窓会を盛り上げるために・・・平成23年6月11日に開催された理事会評議員会において会則の一部改正が承認されました。主な改正点は次の通りです。

第3条の本会の目的に関して、「同窓会支部活動等の助成のための事業」が加わりました。第17条では、第3条を受けて、同窓会支部活動等の助成のための事業内容を具体的に示しました。支部会や地域・学年の同窓会の開催に対して、年1回、10名以上であれば、支部会については2万円、同窓会については1万円を助成することになりました。

助成を受けようとする場合は、事前に事務局にご連絡ください。その活動の報告書と記録写真を提出していただき、会報「真清水だより」に掲載することが条件となります。また、「真清水だより」は、毎年1回発行することとなりました。

6月11日に石田高校会議室において総会(評議員会)を開催し、本年度の同窓会活動に関する事項が審議・決定しました。以下、議事内容を報告します。

- 〇母校創立100周年の諸行事を無事終え、遠藤幸一新会長以下新しい役員が決まり、新体制がスタートを切りました。
- 〇同窓会の活性化を図るため会則の改正が行われ、会報「真清水だより」の毎年1回発行と、同窓会支部会や地域・学年等同窓会の開催に対して、助成金を支給することが決まりました。支部会助成金は2万円、同窓会助成金は1万円です。是非、ご活用ください。
- 〇平成22年度一般会計決算及び事業報告並びに平成23年度一般会計予算及び事業計画が承認されました。詳しくは下表をご覧ください。

平成22年度 事業報告

月日	行事	内容
6月12日	定例理事会 (藤林亭)	議事 (1) 平成21年度事業報告 (2) 平成21年度会計決算報告 (3) 平成22年度事業計画及び中間報告 (4) 平成22年度予算(案) (5) 式典案内状況及び記念同窓会(祝賀会)について (6) 同窓会規約の改正について (7) その他
6月29日	部活動激励会	四国・全国大会参加競技(自転車競技部・水泳(個人))及び野球部を激励し激励費を渡す。
11月9日	部活動激励会	国体参加競技(自転車競技部・登山(個人))を激励し激励費を渡す。
11月13日	創立100周年記念式典及び記念講演 (石田高校体育館)	安藤会長他、同窓生31名が参列した。午後から、記念文化祭の同窓会展示の見学の後、半農半歌手のYaeさんのトーク&ライブ形式による講演会に参加した。
11月13日	創立100周年記念祝賀会 (ヴィア讃岐)	記念講演の講師のYaeさんをゲストに迎え、同窓会評議員と募金活動世話人等、総勢100名を超える参加者を得て開催した。
1月29日	臨時理事会 (藤林亭)	議事 (1) 役員改選について (2) 同窓会活動の活性化について ①規約の一部改正と補助金について ②同窓会会報について (3) その他
2月28日	同窓会入会式	卒業生125名の入会を認め、激励する。
3月末 (4月1日付)	同窓会会報発行	同窓会報「真清水だより」(創刊号)を全会員に配布する。

平成22年度会計決算書および平成23年度会計予算書(一般会計)

収入の部 (単位 円)			
科目	22年度決算	23年度予算	摘要
1 繰越金	3,006,579	3,431,267	繰越金
2 入会金(1年)	496,000	480,000	4000円×在籍人数
3 終身会費(2年)	348,000	369,000	3000円×在籍人数
4 終身会費(3年)	378,000	342,000	3000円×在籍人数
5 雑収入	27,438	733	利息等
合計金額	4,256,017	4,623,000	

支出の部 (単位 円)			
科目	22年度決算	23年度予算	摘要
1 総務費	860	50,000	事務関係等
2 通信費	0	20,000	通信事務等
3 慶弔費	30,500	100,000	弔慰金等
4 会議費	37,520	100,000	各種会議等
5 活動補助金		400,000	同窓会支部活動補助等
6 学校後援会費	250,000	330,000	部活動激励費等
7 記念事業費	480,870		記念事業実行委員会会計へ
8 記念事業積立金		2,423,000	110周年記念事業積立金等
9 予備費	25,000	1,200,000	予備費、会費戻戻金、
合計金額	824,750	4,623,000	

繰越の部(22年度) (単位 円)		
収入総額	支出総額	23年度へ繰越
4,256,017	824,750	3,431,267

記念事業等基金の部		
平成23年12月1日現在	残高	11,265,340円

meiji 明治乳業特約店

明治牛乳・明治アイスクリーム・冷凍うどん・冷凍中華めん 全国地方発送承ります!!
大川乳業協同株式会社
 香川県さぬき市寒川町石田西986-2 TEL(0879)43-2169 FAX43-6309



志度宅配センター TEL(087)894-7623 さぬき市志度4326-4
 東讃宅配センター TEL(0879)25-9412 東かがわ市横内625-1
 高松宅配センター TEL(087)847-9210 高松市小村町398-1
 みろくふれあい市場みろく店 TEL(0879)43-1088 さぬき市富田中3300

寄稿文

「私は小児科医」

香川県立大川高等女学校十四回生

(昭和四年卒)

滝本 百合子さん
(旧姓 寺元)



私は東京女子医学専門学校(現東京女子医大)を昭和九年に卒業致しました。学校の小児科医局に入っ

て一ヶ月程たった時に副校長先生によばれて「貴方は関西出身だから、京都の小児科病院に行ってくれませんか」と云われ見知らぬ京都へいくことになりました。この病院

には母校卒業生が次々にきており、その時も一人の先輩の卒業生がいました。大体二人宛女医がいまいたが、そのうち一人結婚され、欠員になった為に私が代わりたうことでした。実は、もう少し勉強してからと思ひ、ちよつと迷ひましたが、決心していくことにしました。始めは京言葉でわからない事が多くて慣れる迄困りました。ホームシックにかかり東京に帰りたくて京都に來た事を後悔も致しましたが、もう東京には帰れませんでした。しかし、母校の卒業生がいたことで、色々と親切に教えていただき、助けられ、段々と慣れていくことができたのです。

その後、毎日可愛いお子さんに出会える楽しみが一生続きました。親子二代に会えるのは嬉しい事でした。今では小児科の病氣も昔と違つてきた様に思われます。当時は赤痢など夏の病氣で祇園祭の頃は隔離病室は満員になりました。当直の夜など眠れぬ時もありました。一晩で急変する経過に苦勞した事を思い出します。抗生物質もなくリソゲル皮下注射や、静脈注射でした。今では麻疹も少なくなりましたが、昔は「はしかは命定め」といつて恐ろしい病氣でした。

院長先生が人格者で京大教授になられるお方でしたが、開業なさつてからは京都だけではなく滋賀県からも患者さんが沢山いらして

ました。そこで四年間勉強した事で私の小児科医の基礎を作る事が出来ました。ある日お子さんが診察室を出る時に、「ワタシ瀧本先生ニナルンヤ」と云つてくれました。その子も今ではいいお母様になつていらつしやうでしょう。立派なお母様はよいお子さんを育てていらつしやいます。純真な天使のようなお子さんのエネルギーをいただき、こんなに長生きすることが出来ました。長い間には忘れられない患者さんも沢山おられました。もう二十数年も前のことになりましたが、白血病になつた男のお子さんが病院に入院して亡くなられました。その方のお父様が今も先生の顔を見たいと云つて毎年会いに来て下さり感激でした。やはり小児科医になつてよかつたと思つています。

同窓会だより



三木支部では、11月25日に100周年の募金活動の各地区世話人会を開催しました。

15名の世話人と石田高校から校長と教頭をお招きして総勢17名が集まりました。

当日は、冷え込みの厳しい夜でしたが、会場の「炭火料理『いろり』」では、いろりを囲んで美味しい山海の料理と懐かしい思ひ出話で大いに盛り上がりました。

今後もこの会を毎年開くことを約束して、散会しました。

報告：三木支部長 桑井明人

米寿過ぎから診察をやめて、九十八歳の現在は娘の家族と一緒にのんびりとした毎日を過ごしています。近くに住む、孫やひ孫が時々出かけてくるのを楽しみにしています。

活躍する卒業生



香川県立石田高等学校第五十八回生
(平成十九年家政科卒)
森本 温美さん

六月十二日(日)、十三日(月)に東京で行われた「全国和裁技能コンクール 長着の部」に平成十九年に家政科を卒業した森本温美さんが出場し、見事第一位にあたる内閣総理大臣賞を受賞しました。

翌日十四日(火)に森本さんと、所属する原和裁研究所の校長先生と社長さんが報告のため來校され、家政科の在校生一同で祝福しました。

森本さんがコンクールに出場したのは三回目で、前回は入賞したものの、納得のいく結果ではなかったとのこと。今回はぜひ優勝したいという意気込みで挑んだ結果だそうです。しかし、日々の練習では思うように上達せず、涙を流しながら練習することもあったということでした。

その人一倍の努力の結果、勝ち取った立派な優勝旗やカップ、副賞の美しい留袖などを、晴れやかに披露してくれました。



(右)平成五年 農業土木科卒
木村 彰文さん
(左)平成六年 農業土木科卒
大谷 恭弘さん

農業土木科平成五年卒の木村彰文さんと平成六年卒の大谷恭弘さんは、香川県東讃土地改良事務所に勤務しています。

木村さんは、「石高で学んだ測量や土木施工などの技術を生かして、農家の方の役に立ちたい」と抱負を語ってくれました。

大谷さんは三、四年に一度の異動の際の農家の方々からの感謝の言葉が心に残り、「これからも農家のために頑張ろう」と思うとのこと。また、「就職して十七年経つが、毎日が勉強だ。今後も現場での知識を取り入れ、地元の方に喜ばれる仕事をしたい。」と抱負を語ってくれました。

「真清水市場」



5月27日～6月24日の毎週金曜日に、本校生が丹精込めて作った野菜や花苗などを販売しました。沢山の方面にぎわっています。生徒たちも赤いハピに身を包み、元気に接客しました。

「ピッチングマシン寄贈式」



5月20日 石田高校同窓会より、野球部へピッチングマシンが寄贈されました。この新しいマシンを使って、甲子園を目指して練習に励んでいます。

「体育祭」



5月9日 昨年とは打って変わった晴天の下、体育祭を実施しました。全校生の毅然とした入場行進に始まり、2年生女子による集団演技、学科対抗リレー、部活動対抗リレーなどが行われました。今年は3年農業土木科が2年に引き続き、総合優勝を手に入れました。

FFJ四国大会



8月22・23日 かがわ国際会議場で、四国地区の県大会を通過した農業高校生が全国大会出場を目指してプロジェクト発表や意見発表を行いました。



本校からはプロジェクト発表環境部門に、園芸デザイン科3年生のチームが出場し、養果樹園の害獣被害対策について研究発表を行いました。

また、本校農業クラブ員が会場案内やアナウンスなどの大会運営を見事にこなしました。

9月26日

1年生全員を対象にAEDと心肺蘇生法の講習会がありました。万が一のときに適切に対処できるよう、生徒たちは熱心に実習に取り組んでいました。

野球応援



7月15日 全校生でレクザムスタジアムに行き、応援団をはじめ、全員で精いっぱい応援しました。試合は残念な結果に終わりましたが、野球部の試合後半の粘りに、“力”をもらいました。

「料理講習会」



6月21日 “もっと野菜を食べよう”をテーマに、家庭クラブによる料理講習会が開かれました。参加者は男女合わせて31名で、野菜を使った料理やデザートに挑戦しました。

AED講習会



第1回うらおい講座 (農業土木科 陶芸実習)



10月6日 石田高校の教員が持っている技術を一般の方に紹介する「うらおい講座」が今年も開かれ、今年は19名の方が参加しています。受講生の皆さんは農業土木科職員の指導のもと、楽しくマグカップや湯のみなどの作品を仕上げていました。

収穫感謝祭



10月20日、秋晴れのもと、恒例行事として石高生が一番楽しみにしている収穫感謝祭が行われました。開祭式では、農場長から感謝祭の意義についての講話と今年の作況状況の報告がありました。農場で収穫した「コシヒカリ」と学校で肥育した豚を全校生徒で食しました。

平成23年度 進路希望状況

進学	大学	5
	短大	2
	職業訓練機関	0
	専修各種学校	41
計		48
就職	県内	55
	県外	1
	公務員	1
	縁故・自営	7
計		64
卒業予定者数		112

今年の3年生の進路希望状況は、進学43%、就職57%となっており、昨年度卒業生より進学の割合が10%増えました。(昨年度進学33%) また本年度、学校に届いた求人数は、昨年より10%ほど増えましたが、生徒の希望する職種からみれば、まだまだ厳しさは変わりません。12月16日現在、進学希望者のうち合格者は92%、学校推薦の就職内定者は95%(就職希望者全体では90%)となっています。そして、進学では昨年の鳥根大学合格に引き続き、今年は、鳥取大学に合格しました。また、就職では久しぶりに募集のあった高松市上下水道局に内定しました。厳しい時代ですが、明るい話題となりました。全員が希望する進路に進めるよう指導を継続したいと思います。

石高祭 (文化祭)



石高祭(文化祭)が、11月12日、13日の両日、好天に恵まれ盛大に開催されました。開場前から、正門前には入場を待つ人の列がバイパスまで続きました。

部活動報告

●野球部

【春季四国地区高校野球県大会】

2回戦 3月25日(金) レクザムスタジアム 石田 7-4 観音寺
3回戦 3月27日(日) レクザムスタジアム 高松商 10-2 石田

【全国選手権・県大会】

2回戦 7月15日(金) レクザムスタジアム 石田 3-7 英明

【秋季四国地区高校野球県大会】

1回戦 9月10日(土) 志度球場 石田 0-7 多度津

●自転車競技部

【全国総体】

8月9日(火)～12日(金) (秋田県六郷自転車競技場・仙北市田沢湖周回特設コース) 1000mタイムトライアル 13位 水口勝貴(3E) ポイントレース決勝 20位 岩橋洗弥(2E)

【四国総体】

6月11日(土) (広島県中央森林公園) ロードレース 2位 水口勝貴(3E)

6月18日(土) (高松競輪場) 1000mタイムトライアル 1位 水口勝貴(3E) 【県総体】

6月4日(土)・5日(日) (高松競輪場) 学校対抗 準優勝 ケイリン 1位 水口勝貴(3E) ポイントレース 2位 岩橋洗弥(2E) チームスプリント

2位 森 成良(1H)・岩橋洗弥(2E)・水口勝貴(3E)

スプリント 1位 水口勝貴(3E) 1000mタイムトライアル 1位 水口勝貴(3E) 4000m団体追い抜き

2位 水口勝貴(3E)・岩橋洗弥(2E)・堀航輝(1E)・吉原貴幸(1E)

●卓球部

6月6日(月) (丸亀市民体育館) 男子団体2回戦 石田2-3 琴平

6月4日(土) (丸亀市民体育館) 男子個人シングルス

5回戦 射場洋介(3A)

3回戦 鎌田将司(3A)

篠原圭太(3A)

長町聖士(2H) 2回戦 村上 徹(1A) 男子個人ダブルス

3回戦 鎌田(3A) 射場(3A) 県総体(団体) 1回戦 石田0-3 坂出 県新人大会(団体) 2回戦 石田2-3 多度津

●剣道部

6月5日(日) (丸亀高校体育館) 個人2回戦 荒川祐貴(3E) 川地由祐(2A) 瀧岡 淳(2E) 渡辺龍也(3H)

●サッカー部

6月31日(火) (鉢伏ふれあい公園) 1回戦 石田2-0 三本松

6月5日(日)

2回戦 石田0-5 高商

●テニス部

6月5日(日) (亀水コート) 男子団体 1回戦 土庄2-1 石田 男子個人ダブルス 鶴足良樹(3H) 高橋佑介(3H)

●バレーボール部

6月4日(土) (高松市総合体育館)

1回戦 石田2-0 尽誠

6月5日(日)

2回戦 石田0-2 志度

●弓道

6月4日(土) (琴平高校弓道場)

男子団体予選 14位

女子団体予選 22位

●水泳

6月4日(土)・5日(日) (県営プール)

稲田捺未(2H)

男子団体予選 8位

バタフライ200m 7位

なお稲田さんは、7月16日(土)・17日(日)に行われた四国総体に出場した。

●ワンダーフォーゲル同好会

【国体四国ブロック大会】

7月16日(土)・17日(日)

(高知県本山町吉野クライミングセンター) 山岳 少年男子 1位 西尾有生(3H)

meiji
明治乳業グループ

四国明治乳業株式会社

香川県高松市林町字天皇 148-16

TEL 087-805-0369

